

第143回若手懇談会アンケート集計結果

アンケートのご協力ありがとうございました。

以下に今回のアンケート結果を纏めましたので、今後の参考にさせていただきます。

回答数：18枚

質問. 1 あなたの会社での担当業務は何ですか？

- ①製造 ②研究・開発 ③営業 ④その他

・集計結果

① 0名 ② 17名 ③ 0名 ④ 1名 無回答 0名

質問. 2 あなたの勤続年数は何年ですか？（学生の方は学年等をご記入下さい）

- ①（ ）年目（年数をご記入ください） ②その他（学生の方は学年等をご記入下さい）

・集計結果

1～3年目： 4名 4～6年目： 3名 7～9年目： 5名
10年以上： 3名 学生の方： 0名 無回答： 3名

質問. 3 この懇談会へ参加しようと思ったきっかけは何ですか？（複数回答可）

- ①業務と関係があるから ②上司の勧めで ③他社との交流 ④毎回参加しているから
⑤興味のある講演内容だから ⑥その他（ご記入ください）（ ）

・集計結果

① 10名 ② 7名 ③ 3名 ④ 1名 ⑤ 3名
⑥ 4名（ 役員のため ） 無回答 0名

質問. 4 この懇談会への参加回数は何回目くらいですか？

- ①初めて ②2～4回目 ③5回以上

・集計結果

① 7名 ② 2名 ③ 9名 無回答 0名

質問. 5 講演会についていかがですか。

（5-1）講演数についてどうでしたか？

- ①多い ②ちょうど良い ③少ない

・集計結果

① 0名 ② 18名 ③ 0名 無回答 0名

（5-2）講演の時間についてお聞かせ下さい。

- ①長い ②ちょうど良い ③短い

・集計結果

① 1名 ② 15名 ③ 2名 無回答 0名

（5-3）講演途中の質疑応答を取り入れていますが、いかがでしたか？

- ①良い ②悪い

・集計結果

① 17名 ② 1名（ 理由 徳田先生の講演のように、チャット形式で気軽に質問できるのはよかった
無回答 0名 講演途中で気になる点があってもすぐに解決できる点が良いと感じた為。
徳田先生の手法がよかった。そのほかでは途中では止めにくい

（5-4）10月講演会より教育・基礎的な講座を導入し、基礎講演の後に応用講演としましたが、いかがでしたか？

- ①良い ②悪い

・集計結果

① 18名 ② 0名（ 理由 応用的な内容の前に、基礎知識をつけることができたため
無回答 0名 基礎講演の中で事前にある程度の知識が頭に入っているので、
応用講演が身に入りやすかった為。
講演会内で知識を段階的に積み上げることができると感じるから。

（5-5）個々の講演内容について、事前の関心の高さ、分かり易さ、レベルの高さ、新知識
取得の度合い、今後の参考度合いについて、どのように感じたかお聞かせください。

・集計結果

「高・優・多・大」=5 point、「中・普」=3 point、「低・難・低・小」=1 pointで計算し、
pointの平均を100点換算すると下記の表の通り。

平均

事前の関心の高さ	分かり易さ	内容レベルの高さ	新知識取得の度合い	今後の参考の度合い
88	75	82	79	75

(5-6) 講演会全体としての満足度はいかがでしたか？(その理由もお書き下さい)

①非常に満足 ②満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

・集計結果

① 0名 ② 13名 ③ 1名 ④ 0名 ⑤ 0名

無回答 4名

(頂いたコメント)

基礎から応用まで多くのことを学ぶことができ、今後の業務において役に立つと感じた為。
ガラスに関する基本的なことから応用的なことまで幅広く知ることができたため。
基礎的な内容から応用まで幅広く学ぶことができた
全体的にためになる話が多く、今後の参考になりました
内容が面白かったのですが、講師の方と直接お会いできなかった点で普通としました。
基礎講座があったことで、構造解析の基礎と応用実例を両方学ぶことができたため。
ガラスの構造について興味があり、いろいろな手法で研究されている成果を聞くことができたので

質問. 6 Microsoft Teamsを使用したweb開催についてうかがいます。

(6-1) 映像についてどうでしたか？

①非常に満足 ②満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

・集計結果

① 2名 ② 13名 ③ 2名 ④ 1名 ⑤ 0名

(6-2) 音声についてどうでしたか？

①非常に満足 ②満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

・集計結果

① 2名 ② 8名 ③ 4名 ④ 4名 ⑤ 0名

(6-3) 質疑応答についてどうでしたか？

①非常に満足 ②満足 ③普通 ④やや不満 ⑤不満

・集計結果

① 5名 ② 10名 ③ 3名 ④ 0名 ⑤ 0名

(頂いたコメント)

徳田先生の、途中で質問を画面に流せる手法を取られたのが良かったと思います。
途中での質問も気軽にできそうなので、幹事の方がうまく誘導すると、
質問が活発になりwebで陥りがちな単調さを脱して、臨場感が出るように思います。

今回が初めての参加でしたが、基礎講座から講演があったため、
内容が理解しやすかった出のではないかと感じております。
当方はプロセス開発業務を行っているため、実際プロセスで発生している現象のメカニズムを考える・予測する際に構造解析が活かすことができるかという観点で今回参加いたしました。
矢野先生の講演にあった、Qnの挙動は失透抑制を考える際に有用だと感じましたし、組成開発担当と会話をする際に必要な基礎知識の取得に役立ったと感じました。

最先端の研究者の考察ロジックの一部を知ることが出来た。

Webセミナーは、参加しやすい反面、緊急の仕事は対応せざるを得ず、また講演後の交流会がないのが残念なので、コロナ後はどちらかを選んで参加できるようになるとうれしい。

講師の先生・参加者の通信環境によるところが多いので改めてオンラインでの講演会の難しさを感じました。
事前に講師の先生方の資料投影・通信の確認は必要に思いました。

講演・質疑応答ともに、時間不足のためか少し駆け足になっていたのが残念だった

質問. 7 今後、若手懇談会で聴いてみたいと思う講演の分野をお聞かせ下さい。

また、各分野について関連するもので具体的に聴いてみたい内容があればご記入下さい。

分 野

- ①基礎研究（物性・分析）
- ②材料設計関連
- ③製造技術関連（調合・原料、溶融、成形、加工）
- ④用途（ディスプレイ、電子デバイス、建材、医療、環境、瓶関連）
- ⑤分析、解析技術関連
- ⑥非技術分野（マーケティングなど）
- ⑦隣接・学際的分野（セラミックス、半導体、金属など）
- ⑧上記以外に聴きたい講演がある
- 無回答

・集計結果

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無
回答数	9	6	10	6	5	2	3	3	1

<具体的内容>

ガラスの微細構造観察 東北大 平田秋彦 先生
ガラスの溶融や成形
ガラスの溶融技術
どんな分野で使用されているか知りたい
AR技術

身近な分析機器（SEM-EDSやEDX等）による解析事例
他の材料とガラスの複合、接着
金属部品と接するガラスの注意点
新規用途探索の手法
最近の欠陥の発見方法

質問. 7 若手懇談会について、ご自由にご意見をお書き下さい。

今後の講演会も自身の仕事分野に関連のある分野であれば聴講させていただきたいと感じました。
今回参加させていただきありがとうございました。

今回はサブテーマ的にもほとんどがアカデミックな話であったので、
今後の講演会で産のお話も聞きたいと感じた。

基礎と応用に分けて、基礎もきちんと講演していただけるのはとてもうれしいです。
ガラスでもいくつかの分野があり、その分野の基礎が他の分野でも基礎とは限らないと思っております。
そして、分野をまたぐことで、ブレイクスルーする可能性もあると考えます。その点で、若手懇談会はとても役立っていると思います。

基礎と応用と分けて講演があるのは様々なレベルの方に対応しており良い試みと思いました。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。